



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月3日

上場会社名 大成ラミック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 正

TEL 0480-97-0224

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,201	4.7	1,312	△7.4	1,340	△5.9	873	3.3
25年3月期第3四半期	14,512	△3.2	1,416	△20.5	1,424	△20.4	845	△15.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	140.74	—
25年3月期第3四半期	136.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,872	13,137	55.0
25年3月期	21,294	12,689	59.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 13,137百万円 25年3月期 12,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
26年3月期	—	33.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,008	5.7	1,501	△15.7	1,513	△16.2	967	△10.6	155.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	6,300,000 株	25年3月期	6,300,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	91,657 株	25年3月期	91,612 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	6,208,370 株	25年3月期3Q	6,208,409 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権における経済政策により円安・株高が進行し、輸出関連企業を中心とした景気回復の兆しや設備投資も緩やかな増加傾向となっており、実体経済への効果が徐々に見られ始めました。一方で、今後の消費税率引き上げに伴う個人消費への影響や新興国の経済停滞、欧州経済の長期低迷等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当軟包装資材業界におきましては、原油高騰に伴う原材料価格の変動や円安進行に伴うエネルギーコストの上昇等から、各社とも厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社のビジネスモデルである包装フィルムと液体充填機械を提供する体制のもと、液体充填システムを国内外の食品並びに化粧品業界等に対し、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。生産体制の強化としては、平成25年5月に竣工いたしました新工場（白岡第2工場）を主軸に、一層の生産体制の最適化を図り生産性の向上及び内製化の推進に努めてまいりました。なお、新工場の竣工に伴い減価償却費が4億77百万円増加し、利益面に影響が出ております。

その結果、売上高は152億1百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は13億12百万円（同7.4%減）、経常利益は13億40百万円（同5.9%減）、四半期純利益は8億73百万円（同3.3%増）となりました。

[包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、夏場の記録的な猛暑により、冷やし麺に添付される麺つゆ用フィルム等が好調であったことや、秋口以降では冬物商品の代表である鍋つゆ用フィルム等が好調でありました。通期では、液体スープを採用した袋入り麺が市場に受け入れられ、当社が専門とする液体小袋市場に追い風となり、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は141億87百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門につきましては、新規顧客の開拓や既存顧客の更新ニーズ等、中長期的な需要の掘り起こしを行うなか、主力機種である高速液体充填機「DANGAN G」が、ユーザー各社から高い評価を頂き、受注台数の大半を占めるほど多くの引き合いを受けることができました。しかし、設置・検収時期が年明け以降に集中したため、前年同期の売上高を下回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は10億14百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ25億77百万円（前事業年度末比12.1%）増加し、238億72百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ10億65百万円（同9.4%）増加し、123億80百万円となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金が6億79百万円、商品及び製品が2億43百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ15億12百万円(同15.2%)増加し、114億91百万円となりました。主な要因としては、新工場建設に伴い建物(純額)が22億19百万円、機械及び装置(純額)が13億2百万円増加し、有形固定資産のその他(純額)に含まれる建設仮勘定が、新工場本稼働に伴う本勘定への振替により26億84百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ21億29百万円(同24.8%)増加し、107億34百万円となりました。主な要因としては、新工場建設に伴う資金調達による長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が23億円、買掛金が5億28百万円増加し、流動負債のその他に含まれる未払金が新工場建設費の支払いにより3億85百万円、未払法人税等が2億78百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、131億37百万円(前事業年度末の純資産合計は126億89百万円)となりました。主な要因としては、利益剰余金が4億39百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の59.6%から4.6ポイント下降し55.0%となり、1株当たり純資産額は2,116円15銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月7日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行っております。具体的内容につきましては、平成25年10月15日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,555,324	3,505,539
受取手形及び売掛金	5,618,792	6,298,565
商品及び製品	1,293,707	1,536,873
仕掛品	435,944	470,825
原材料及び貯蔵品	158,549	208,688
その他	253,058	360,218
流動資産合計	11,315,377	12,380,711
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,571,825	3,791,447
機械及び装置(純額)	806,383	2,108,639
土地	3,338,884	3,448,157
その他(純額)	3,328,949	1,141,775
有形固定資産合計	9,046,042	10,490,020
無形固定資産		
投資その他の資産	436,877	384,532
その他	506,713	627,547
貸倒引当金	△10,435	△10,435
投資その他の資産合計	496,277	617,111
固定資産合計	9,979,197	11,491,665
資産合計	21,294,575	23,872,376
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,891,294	3,419,835
1年内返済予定の長期借入金	597,696	1,011,696
未払法人税等	319,258	41,106
賞与引当金	288,000	145,500
役員賞与引当金	21,800	16,350
株主優待引当金	65,727	46,281
その他	1,114,857	790,975
流動負債合計	5,298,633	5,471,744
固定負債		
長期借入金	2,799,778	4,686,406
退職給付引当金	339,285	360,395
役員退職慰労引当金	34,216	32,741
その他	132,685	183,298
固定負債合計	3,305,965	5,262,842
負債合計	8,604,599	10,734,586

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	7,590,204	8,029,427
自己株式	△209,336	△209,446
株主資本合計	12,685,542	13,124,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,432	13,134
評価・換算差額等合計	4,432	13,134
純資産合計	12,689,975	13,137,790
負債純資産合計	21,294,575	23,872,376

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,512,643	15,201,651
売上原価	11,100,223	11,824,613
売上総利益	3,412,419	3,377,037
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	377,541	395,990
貸倒引当金繰入額	△5,706	—
役員報酬	90,167	92,949
役員賞与引当金繰入額	16,200	16,350
給料及び手当	454,927	458,319
賞与	89,106	92,475
賞与引当金繰入額	49,827	49,387
退職給付費用	49,448	52,661
役員退職慰労引当金繰入額	2,700	2,800
福利厚生費	91,956	98,713
旅費及び交通費	75,313	69,433
賃借料	206,291	214,189
消耗品費	41,158	40,953
減価償却費	67,301	87,482
株主優待引当金繰入額	45,342	46,281
その他	344,263	346,644
販売費及び一般管理費合計	1,995,839	2,064,633
営業利益	1,416,579	1,312,404
営業外収益		
受取利息	5,562	2,488
受取配当金	4,066	4,369
物品売却益	7,317	10,346
受取補償金	5,529	6,952
為替差益	3,785	18,576
雑収入	4,746	4,684
営業外収益合計	31,008	47,418
営業外費用		
支払利息	9,818	12,644
売上割引	1,800	1,471
支払補償費	10,655	5,590
雑損失	854	9
営業外費用合計	23,129	19,716
経常利益	1,424,458	1,340,106

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	9,568	8,220
リース解約損	—	2,871
投資有価証券評価損	4,472	—
特別損失合計	14,041	11,092
税引前四半期純利益	1,410,417	1,329,014
法人税、住民税及び事業税	512,572	379,690
法人税等調整額	52,310	75,514
法人税等合計	564,883	455,205
四半期純利益	845,534	873,808

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)及び当第3四半期累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社の事業は、液体包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。